

観光いちご園が増えています

いちご園経営が9戸に

川越農林振興センター管内では、近年高設いちご栽培による観光摘み取り農園が増加しています。特に、飯能農業支援部管内では、新規就農者等によるいちご経営を開始した生産者がこの5年で2戸から9戸に増加しています。栽培方式は、全戸が高設栽培を導入しています。高設栽培の利点は立ったまま管理作業ができる、バリアフリーに対応できる、来園者が摘み取りやすいこと等があげられます。



特徴ある農園へ！

各農園では、それぞれ特徴のある農園作りに取り組んでいます。農園内のバリアフリー化に取り組んだり、花の摘み取りを行ったり、ブルーベリーなどの果樹と組み合わせた経営を行ったりしています。



さらに経営を発展させるため、川越農林振興センターでは、昨年11月に、いちご栽培を行っている農業者を対象に「摘み取り観光いちご経営～成功の秘訣！～」と題して研修会を開催しました。秩父市吉田でいちご園を経営している高野忠財氏を講師に迎え、「おもてなし」の心を大切にする、摘み取り園経営成功のポイントを御講演いただきました。

川越農林振興センターでは、今後も生産者同士の技術交流等を図る組織づくりを支援するとともに、栽培管理技術研修会等を開催するなど、いちご経営を支援していきます。



管内の観光いちご園	
はッピーいちご園	所沢市城
保谷農園	飯能市双柳
小谷野果樹園	飯能市芦荻場
いちごハウス粕谷園	狭山市沢
狭山ベリーランド	狭山市堀兼
いちごとお花畑	坂戸市小沼
いちこの里	毛呂山町西戸
各農園のHPにも詳しい園の様子が載っています。ぜひ一度いちご狩りに行ってみたいはいかがでしょうか？	

